

【事務事業調査】

事務事業名	特定健診・特定保健指導事業			予算科目コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業 002-08-01-01-0001
担当部課	住民生活部 住民課	担当係長	保険年金係 築瀬 恵子	事業の分類	既存事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	<p>H22 事後評価</p> <p>保健センターと図書館中央館の2ヶ所を会場に、5月～12月まで年28回集団健診を実施しました。健診機関は宇都宮東病院(3年長期継続契約)です。 受診率向上に向けて、個別通知、受診勧奨通知、回覧、広報等を実施しました。健診受診率は29.2%(速報値)でした。</p> <p>H24 事前評価</p> <p>40歳から74歳までの国保被保険者を対象に特定健診を実施し、若年層からの糖尿病等の生活習慣病の予防対策を進め、通院者や重症化を防ぐことにより医療費の適正化(抑制)を図ります。 健診は、個別通知を行い、5月～12月まで集団健診として実施します。 保健指導は、生活習慣病の改善につながる効果的なメニューで実施</p>	<p>医療費全体に占める生活習慣病の割合が高まってきている中、主要因である内臓脂肪症候群の該当者及び予備軍に対し、運動や食生活の改善を行うことで重大疾病の発症リスクの低減を図ることができます。その結果、健康的な高齢期を迎えることができ、長期的には医療費の削減につながるものです。特定保健指導の対象者は、平成20年度237名、平成21年度210名、平成22年度199名と減少の傾向にあり、事業の効果が現れています。</p>
実績		

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
特定健診受診率	65%		本事業は、「高齢者の医療の確保に関する法律」が改正され、平成20年度から全医療保険者が実施するものです。なお、同時に栃木県後期高齢者医療広域連合からの受託事業として、75歳以上の後期高齢被保険者の健康診査も実施します。 目標値は「高根沢町特定健康診査等実施計画」における数値です。

■事業費(計画)

【単位:千円】

細 節	金 額	積 算 根 拠
1 消耗品費	140	受診券・利用券印刷プリンター用紙 12,810円×3本 特定保健指導用参考図書 1,200円×20冊 事務用品等 10,000円 外
2 印刷製本費	270	健康診査家族調査票 10.7円×4,000枚×1.05 健診通知用封筒 21円×4,000枚×1.05 周知用リーフレット 37円×3,500枚×1.05
3 通信運搬費	1,531	ネットワークサービス利用料(年額)392,400円 国保連合会通信料 5,302円×12月×2台 各種通知郵送料 1,010,800円
4 手数料	378	特定健診システム共同処理手数料
5 委託料	12,356	特定健診(国保分) 7,450,000円 健康診査(後期高齢者分)1,806,000円 特定保健指導 3,099,600円
6 負担金	815	特定健診等データ管理システム拠出金(国保連合会共同処理費事務負担金)
7		
8		
	15,490	

■事業費(実績)

【単位:円】

細 節	金 額	特 記 事 項
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	0	

■事業経費

		計 画 【千円】	実 績 【円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額	15,490		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金	1,543		特定健診国庫負担金
	県支出金	1,543		特定健診県費負担金
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源	5,910		受託事業収入(後期高齢者医療広域連合・健康診査事業)
	計	8,996		
	差引(一般財源)	6,494		